

## 2026年度 大学院入学試験問題【I期】

政治経済学研究科 経済学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目

以下の4問から1問を選択し、日本語で解答しなさい。

【解答用紙に問題番号を明記すること。】

1. 市場の逆需要関数  $P=a-bQ$  ( $P$ : 価格、 $Q$ : 数量、 $a$  と  $b$  は正の定数) の下で、クールノー型数量競争をしている2企業がある。限界費用は2企業に共通の  $c$  ( $a > c$  を満たす正の定数) である。この複占市場でクールノー競争によって達成された市場全体の生産量と、2企業が完全競争の行動をとったときの市場全体の生産量水準を比較せよ。
2. ソローの経済成長モデルを考える。生産関数は収穫一定のコブ・ダグラス型であるとする。当初、経済は人口成長率  $n$  のもとで定常状態(均斉成長経路)にあった。ここで人口成長率が急に  $n$  から  $2n$  に増えたとする。このとき、一人当たり資本はどのような動きをするか、図を用いて説明しなさい。そして最終的に経済全体の資本の成長率はどうなるか答えなさい。当初の人口成長率  $n$  は正の定数とする。技術水準は一定とする。
3. イギリス産業革命の特徴について、後発資本主義国と比較しつつ述べなさい。
4. ミュニシパリズム (Municipalism) について説明し、これが経済民主主義の重視や社会的連帯経済の推進とどのように関係するのかについて論じなさい。